

News Release

2009年12月8日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

『少子高齢化社会到来が東北観光に与える影響』を発行

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下、「DBJ」という。）は、このたび「少子高齢化社会到来が東北観光に与える影響～この先10年で市場環境変化への対応力（マーケティング力等）を磨き、生き残りを～」と題したミニレポートを作成いたしました。

観光産業は、現在、人口の減少及び少子高齢化という構造変化に直面しています。東北地域において観光産業は主力産業の一つで、農業、食品製造業など他の主力産業との関連性も深いため、その動向は地域経済に大きな影響を及ぼします。そこで、当ミニレポートでは、この先10年間に焦点を当てつつ、人口減少及び少子高齢化の進展が東北の観光産業に与える影響、その結果を踏まえた今後の取り組みの方向性について考察しました。

当ミニレポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（東北）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/tohoku/>）に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域のお役に立てる情報発信を積極的に行って参ります。

【お問い合わせ先】

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル19階

東北支店 企画調査課 022-227-8182 tohoku@dbj.jp